

# なぜ、「今」市町村合併が必要なのですか？

21世紀は、「混迷の時代」と言われています。

それは、超高齢・少子化から急激な人口減少社会になり、従来の制度や常識が通じない社会になるためです。

市町村合併は、21世紀へ挑戦するための基盤づくりです。

「急がなくても、困ったら、後で合併すれば！」

本当に大丈夫ですか？

10年後・20年後・・・超高齢・少子化社会は、すぐに訪れます。

困ってからでは遅いのです。

現在

少子高齢化社会への入口

日本の人口は、1億2,690万人です。  
年齢別人口割合を大きく左右する第1次ベビーブーム世代(団塊の世代)とその子供たちである第2次ベビーブーム世代が社会を支える年齢(生産年齢人口)にいます。生産年齢人口3・9人で1人の高齢者を担っています。  
しかし、第3次ベビーブームの兆候もなく、少子化傾向は一層進んでいます。

少子高齢化社会への入口の「今」だから市町村合併が必要です。

10年後

本格的な高齢化社会へ突入

人口割合の一番多い、「団塊の世代」が老年人口に入り、高齢化率は、急速に上昇を続けます。

新自治体の体制づくりには、10年間かかります。  
だから「今」特例法の優遇措置を活用して足腰の強い市をつくるために市町村合併が必要です。

20年後

超高齢・少子化社会が現実

少子化が進み、年少人口(0〜14歳)割合は、9%台になります。  
高齢化率は、3割目前です。

今までの制度や常識が通じない社会になります。  
だから「今」行財政基盤を強化するために市町村合併が必要です。

# 日本のどこでも、同じように平均して、人口が減少するわけではありません。

県都(県庁所在市)に、1時間以内の交通圏内の都市部では、人口が増加傾向にあります。それ以外の地域では、既に人口減少が始まっており、より急激なスピードで人口が減少してしまいます。

## 新しい市は、どうでしょうか？

北陸新幹線・上信越自動車道 → 【交通の要衝】

4市町村を環状線による道路網で繋ぐことにより、新市の一体化を図ります。これにより、新市全てが、高速交通網の恩恵を受けられます。

長野市まで……………新幹線で20分……………車で1時間以内
東 京まで……………新幹線で70分……………車で2時間以内

さらに、中部横断自動車道・松本佐久間地域高規格道路 → 【地域連携軸の結節点】

## 「10万都市、100万経済圏、1000万交流圏の拠点づくり」

4市町村が合併することにより、人口が増加する環境が整います。

しかし、全国的な人口減少は、新市にも大きな影響があります。人口が増加傾向にあるということに甘んずることなく、この優位性を活かしながら、力強い基盤づくりを行うために、「今」市町村合併が必要です。

